

重要情報シート(質問例と回答例)

下記は、重要情報シート(個別商品編)に記載している「ご質問の例」に対する回答例です。お客さまや商品により、回答内容が異なることがあります。

1. 商品等の内容(当行は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています)

①ゆうちょ銀行が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。

当行Webサイトでは、お客さまご自身のニーズにあわせてファンドを検索できる機能や、リターンや積立をシミュレーションする機能等をご提供しております。

【取扱ファンド一覧】

<https://qw159.qhit.net/jp-bank.japanpost.jp/qsearch.exe?F=tp/fundListOpen>

なお、窓口でのご提案に際しては、お客さまのライフイベントに合わせたシミュレーションを行うことができるツール等を活用して、お客さま一人ひとりのライフプランに応じたご提案をいたします。

また、個別商品のお申し込みに際しては、お客さまの知識、経験、財産の状況、商品購入の目的等を伺い、お客さまの適合性に沿ったご案内をいたします。

②この商品を購入した場合、どのようなアフターフォローを受けることができるのか。

投資信託の残高があるお客さまには、対象期間のお取引明細や当行がお預かりしているお客さまの残高等をご確認いただける「取引残高報告書」を、年1回以上、電子交付または郵送で交付します。

あわせて当行Webサイトでは、当行で取り扱うファンドの基準価額の推移や月次レポートをご確認いただけます。

【取扱ファンド一覧】

<https://qw159.qhit.net/jp-bank.japanpost.jp/qsearch.exe?F=tp/fundListOpen>

また、お問い合わせいただいた際は、運用状況のご報告に加え、お客さまのご要望に応じて、お客さまのライフイベントや資産の変化に応じたご提案をいたします。

③この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

複数の投資信託を投資対象とする投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)の場合、重要情報シート上の「パッケージ化の有無」という項目に、パッケージ商品であること(ファンド・オブ・ファンズである旨)を記載しております。

ファンド・オブ・ファンズの場合、個別の株式やファンドを購入する場合と比べ、分散投資の効果が得やすいというメリットがありますが、デメリットとして、複数のファンドを組み入れているため、実質的な信託報酬が高くなる傾向があることが挙げられます。

2. リスクと運用実績(本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

④リスクについて、具体的に説明してほしい。

リスクは商品によって異なるため、商品ごとのリスクの詳細は、交付目論見書の「投資リスク」の箇所をご確認ください。

⑤相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。もしあるのであればその商品について説明してほしい。

当行Webサイトでは、投資信託の取扱ファンド一覧から、「投資対象」や「投資地域」に加え、「リスク」で商品を検索いただけます。

なお、当該ページにおける「リスク」とは(株)格付投資情報センター(R&I)が、各投資信託の過去の基準価額の変動リスクを基に運用方針等を加味して判断したリスク分類であり、リスクの小さい順にRC1~RC5の5段階で表示しています。

【取扱ファンド一覧】

<https://qw159.qhit.net/jp-bank.japanpost.jp/qsearch.exe?F=tp/fundListOpen>

3. 費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します）

⑥たとえば、私がこの商品に100万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。

●購入時にご負担いただく費用

ゆうちょダイレクト（ダイレクトサービス）や通帳アプリでお申し込みの場合は、購入時手数料はかかりません。

窓口やゆうちょダイレクト（投資信託テレホンサービス）でお申し込みの場合は、一部対象商品等を除き、購入時手数料がかかります。

なお、窓口でのお申し込みに際しては、担当者が手数料の概算を計算し、お示しします。

●継続的にご負担いただく費用

投資信託を保有している間、投資信託を管理・運用するための経費として、運用管理費用（信託報酬）を負担いただきます。信託報酬は直接お支払いいただくのではなく、ファンドの資産からその保有期間中、日割り計算で日々、差し引かれます。

また、その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われますが、これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。商品ごとの信託報酬率等、詳しくは交付目論見書でご確認ください。

●運用成果に応じてご負担いただく費用

ありません。

⑦費用がより安い類似商品はあるか。もしあるのであればその商品について説明してほしい。

当行Webサイトでは、投資信託の取扱ファンド一覧から、「投資対象」や「投資地域」に加え、「信託報酬」や「購入時最大手数料」で商品を検索いただけます。

なお、ゆうちょダイレクトやゆうちょ通帳アプリでお申し込みの場合は、購入時手数料はかかりませんが、信託報酬率は商品ごとに異なります。詳しくは、交付目論見書でご確認ください。

【取扱ファンド一覧】

<https://qw159.qhit.net/jp-bank.japanpost.jp/qsearch.exe?F=tp/fundListOpen>

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

⑧私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるか、説明してほしい。

換金・解約の際に、信託財産留保額等の費用がかかる商品があります。

また、海外へ投資をする商品などで購入・換金申込受付不可日がある場合、該当日には購入・換金のお申込受付を行いません。その他、ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金には制限を設ける場合があります。

なお、換金のご資金は、商品ごとに定められた受渡日以降にお受け取りいただけます。

換金・解約の条件について、詳しくは交付目論見書でご確認ください。

5. 当行の利益とお客さまの利益が反する可能性

⑨ゆうちょ銀行が得る手数料が高い商品など、私の利益よりゆうちょ銀行やあなたの利益を優先した商品を私に勧めていないか。私の利益よりゆうちょ銀行やあなたの利益を優先しないよう、ゆうちょ銀行では、どのような対策をとっているのか。

窓口でのお申し込みに際しては、お客さまの知識・ニーズや投資経験等に応じて、お客さまの目的に合うと考える商品・サービスの提供を行います。手数料の高い特定のファンドの販売を高く評価する等、お客さまの利益を損なう業績評価は行っておりません。社員の評価は営業実績、コンプライアンスの観点を含むお客さまサービス対応状況、事務品質と生産性の向上、人材育成など総合的に評価しております。

また、利益相反のおそれがある取引により、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、法令および社内規程等に基づき適正に業務を遂行いたします。

利益相反の管理方針について、当行Webサイトに掲載しております。

<https://www.jp-bank.japanpost.jp/sustainability/governance/compliance/conflict/index.html>